

# 自治会 第70号 あつぎ

## 目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的活動から
- ◎行政と協働で楽しく豊かな地域社会

平成28年10月1日発行

発行 厚木市自治会連絡協議会  
編集 厚木市自治会連絡協議会広報部会  
電話046(225)2101

ネットは



大規模災害からの火災を未然に防ぐ訓練

## 今こそ、考えよう

### 地域防災の重要性

厚木市自治会連絡協議会

いつ起きても不思議ではない大規模災害に備え、私たち自治会では、東日本大震災や熊本地震の教訓を踏まえ、何ができるかを常に考えています。

#### 自分の地域は地域で守る

大規模災害では、市役所や消防・警察による救助活動である「公助」が全てに及ぶとは限りません。

災害に対する備えとしては、自分の安全は自分で守るという「自助」が基本です。普段から一人一人が災害に関

する知識を身につけ、準備をしておくことが大切です。

次に自分たちの住んでいる地域の安全を、お互いに助け合って守るという「共助」も重要です。いざという時に頼りになるのは、顔見知りの隣近所の方です。これまでの大規模災害でも、最も多くの人命を救ったのは地域の住民で



心肺蘇生法を学ぶ地域の人々

あると言われていきます。このように、自助・共助・公助をいかに連携させるかが鍵となることから、自治会ではこの「共助」の体制を整えるため、自主防災隊を組織して災害に備えています。いざという時に、一人一人がばらばらの行動をとっていたのでは、せっかくの活動も十分な力を発揮することはできません。そのためにも、自治会では、日頃からの交流を通じて、住民相互の連帯感を育み、地域に住む子どもから高齢者までが、安心して暮らせる地域づくりを進めていきたいと思えます。

## 平成28年度役員紹介

会長	前場 政行 (玉川)
副会長	山村 勝美 (睦合南)
会 計	神保 忠男 (森の里)
庶 務	渡邊 征一 (南毛利南)
	毛利 昇 (狹野)
	三田 進 (厚木北)
	加藤 和正 (依知北)
	渡邊 勝三 (依知南)
	山口 末夫 (睦合北)
	池永 和夫 (睦合西)
	山田 充 (小 鮎)
	前田 満 (南毛利)
	菊池 美明 (相 川)
	佐々木安雄 (緑ヶ丘)
	陣内 忠彦 (厚木北)
	足立原 将 (厚木南)
	堀口恵太郎 (依知北)
	竹内 光一 (依知南)
	志賀 繁政 (睦合北)
	石井 勝巳 (睦合南)
	栗原 富栄 (睦合西)
	高橋 修一 (狹野)
	横岩 康平 (狹野)
	松本 享一 (小 鮎)
	山口 泉 (南毛利)
	前田 征治 (南毛利)
	高澤 浩通 (南毛利南)
	高橋 正一 (玉 川)
	永嶋 信一 (森の里)
	大貫 太郎 (相 川)
	笹山恵一郎 (緑ヶ丘)

### 楽しい自治会を

#### 目指して!!

厚木北地区

天王町自治会

会長 高瀬 正夫

天王町自治会は、厚木神社（お天王様）の地元自治会です。古くは商業の中心地でしたが、今は、店舗も減少し、跡地にはマンションが多くなり、新たに住民になられた方が370軒のうち4分の3を占めています。

地域の交流を図るために、10年前にソフトボールチームを立ち上げ、毎週試合や練習をしています。

子どもがいるメンバーを中心に子ども会の活動に協力していただいております。主な活動は、神社夏祭りの子ども



夏休み早朝ラジオ体操を終えて

神輿渡御、夏休み早朝ラジオ体操の実施、これにはご高齢者の参加もあります。

秋には運動会、日帰りバス旅行、また冬にはクリスマスパーティーを子ども会が中心に実施しています。

このような子ども会活動への参加者に対し、役員の方が自治会への加入促進を行っています。

当地区も高齢者の割合が高くなっていきます。高齢者と若い人が一緒に参加できる事業を積極的に行っていききたいと思えます。

### 安心して安全に暮らせる

#### 地域を目指して!

依知南地区

関口自治会

会長 栗山 保

関口自治会は、平成28年6月29日に厚木商工会議所において、厚木市長並びに厚木警察署長の連名による平成28年度の「安心・安全セーフコミュニティ推進地区」の指定を受けました。私達は早速、依知南地区市民センターの協力のもと、関口自治会区域の住民が自ら取り組み、防犯を推進するための事業計画を策定し、併せて活動組織として自



セーフコミュニティ基調講演にて

治会長を委員長とする推進委員会を立ち上げました。

推進委員には、自治会役員をはじめ、日頃から依知南地区や関口自治会等の活動に御協力いただいている方々をお願いし、去る7月26日に第1回の推進委員会と出陣式を執り行いました。来賓として、安心・安全まち会議の正副議長、防犯指導員、公民館長をお迎えし、厳正にして更に気合が入ったものとなりました。

また、基調講演として、「まちの安全とセーフコミュニティ」というテーマで厚木市セーフコミュニティ総合指導

員の方から御講演をいただき、地域の防犯活動がいかに効果的で重要であるかを改めて認識することができました。

関口自治会では、今回の指定を積極的に推進するため、地域の消防団の協力のもと区域内細部にわたるパトロールの実施等、防犯啓発活動の強化実践を図ってまいります。

### 地域の道に彩を

#### 環境・美化活動の取組

睦合北地区

中三田第一自治会

会長 三橋 泉

中三田第一自治会は、会員数460世帯余、27班で構成されており、「ふれあい地域」をスローガンとしています。

年間の主な活動としては、毎月定例の防犯パトロール、納涼盆踊り大会、防災訓練、運動会などがありますが、そのほかに環境・美化活動の一つに「ふれあい花壇」の維持管理があります。

これは、地元住民で道路を守り育てようという「厚木市道路里親制度」の一環で、「地域の道に彩を添えて、散歩している人や車を運転する人に和んでもらえたら」と平成19



ふれあい花壇の整備の様子

年から始めたもので、厚木バイパスの道路脇の歩道約250メートルにわたる花壇に1,700株程の植栽をしているものです。

春と秋の年2回の植栽は、地域の少年野球チームや老人会など8団体に協力を呼び掛けて、毎回100人を超える参加があり、1時間ほどの作業を和気あいあいのうちに終えています。また、草取りや水やりなどの管理は月2回程度自治会役員が行うほか、隣接する2班の会員が交代で毎日曜日に周辺地域の清掃活動を行っています。

こうした活動が評価され、一昨年には市長表彰を受けており、今後も引き続き地域の皆さんとともに環境・美化活動に取組んでまいります。

### 伝統の納涼盆踊り大会

睦合西地区  
及川第三自治会  
会長 川上 泉

睦合西地区は、及川・林・王子一丁目・及川団地を区域とする8自治会で構成されており、及川には3自治会あります。

及川3自治会合同としての年間イベントは、納涼盆踊り大会、ふれあいまつり、ミニデイサービスであります。盆踊り大会は伝統の最大の行事であります。

当日は早朝から設営準備をスタートし、午前中に完了。

夜の盆踊りは、十九時前から模擬店は長蛇の列で大賑わい。やぐらの周りは、太鼓の音頭に合わせ婦人会の先導で、地域の皆様も加わり輪が



賑やかな盆踊り大会の様子

広がります。

休憩時間には自治会よりアイスの差し入れ、お楽しみ大抽選の一等賞品は、高級自転車、以下多数当たるようになっております。盆踊りは、地域のふれあいの場となり、親睦を深めるための有意義なものであったと感じております。

今後大勢の方の参加を期待したいと思います。これからも地域の人の交流を大切に、安心安全なまちづくりをモットーに、積極的な共助、地域のコミュニケーションを大事にしていきたいと思っております。

### 思いやり溢れる 愛甲原

南毛利南地区  
愛甲原自治会  
会長 疋田真貴子

愛甲原住宅団地は、国家公務員住宅団地として昭和30年代後半より開発され、愛甲原250戸、市をまたいだ伊勢原市高森台650戸合わせて約900戸の住宅として出発しました。当初は、協同で自治会の運営がされていましたが、2市にまたがっているため昭和54年から分離され、現



子ども神輿を前に記念撮影

在の愛甲原自治会となりました。

住民の高齢化に伴い空き家問題等もございますが、厚木市や様々な方のご尽力により改善されて参りました。昨今は若い世代の家族も増え、乳児から中学生までの子どもが100名になりました。開発当初から居住されている方々は、頼れる先輩であり、親も子も温かく育てていただいております。子どもたちの集まる愛甲原児童遊園では、お花見やどんど焼き等の行事を通し、ご近所同士の交流を深めております。

青少年健全育成会が主体となって行われる「こども夏祭り」は、高森台子ども会と協同で取り組み、行政をまたい

### 獣害対策防護柵の点検、維持管理活動について

玉川地区  
神川自治会  
会長 中山 栄一

だ交流が今でも続いており、愛甲原ならではの行事です。子ども神輿が住宅内を練り歩くと、お爺ちゃんお婆ちゃんが家の前に出て応援してくれます。

今後も、子どもからお年寄りの皆さんまで住み良い地域であるように「思いやり溢れる愛甲原」でありたいと思います。

私も玉川地区では、猪、鹿等による野生動物の獣害対策の一環として厚木市により設置された獣害対策防護柵の点検を行っています。防護柵が設置されるまでには、玉川地区全域で野生動物による野菜、果樹、稲を中心に被害を受けておりました。平成26年に防護柵が完成し、その後は、野生動物被害が減少してきており、防護柵の設置効果が大きいと感じています。



獣害対策防護柵の点検の様子

この防護柵を自治会長、JAあつぎ生産組合長を中心に毎月1回点検を実施しております。内容は朝9時に集合し、玉川地区内に設置されている防護柵(全長9,647m)を9班に分け、各班4名前後の体制でそれぞれの担当ブロックへ移動して、防護柵の点検を午前中に行います。作業内容は、防護柵近辺の除草作業、有害な枝の除去、柵の損傷確認、倒木の確認、柵の上に設置されている電気柵の通電確認、その他不具合の有無等の確認を行い、不具合があれば処置をして報告書にその内容を記載し、市担当者に提出して作業終了となります。点検作業そのものが山中でのことですので起伏が大きく歩行も大変な状況ですが、参加者の協力により毎回スムーズに作業を終了することが出来ています。今後も防護柵の維持管理を図っていききたいと思います。

### つながる絆

森の里地区

森の里二丁目自治会

会長 堀田 正弘

山あり、川あり、ホテルありの自然豊かで美しいまち並みの西南の位置に森の里二丁目があります。

住民は、優しく、想いやりがあり、社会福祉への参加も熱心でボランティア活動(おしゃべり喫茶など)が活発な自治会でもあります。

少子化・高齢化・空き家の増加などの状況で、子どもから高齢者の活動を自ずから制限せざるを得ません。

それでも人が集えばにぎやかな話し声があふれ、和やかなふれあいが人との輪や絆を強くしています。

今年の活動の一部ですが、一、「自治会たより」を発行し、自治会活動への理解を深めて



おしゃべり喫茶での体操風景

います。

二、「自治会館利用予約ボード」を設置し、住民の自主管理による会館利用を進めています。

三、道路標識の設置やカーブミラーの補修など、毎日の安全安心の生活に直結した目に見える諸活動に地道に取り組んでいます。

このような自治会活動を通して、住民の営みを支援しながら「住んでよかった」「これからも住み続けたい」まちづくりを目指して、役員・班長さんの創意・工夫・努力が住民のため、自分のためであることを信じて活動に汗を流しています。

### 夏のイベント盆おどり大会

相川地区

岡田自治会

会長 佐藤 忠夫

岡田自治会は本厚木駅より南に徒歩二十分ほどに位置し西に大山を仰ぎ東に相模川が流れています。昔は地名の通り田んぼが広がる田園地帯でした。昭和三十七年に東名高速道路が開通し、インターチェンジも出来、今は厚木市の玄関口とも言われ流通の要所となりました。またアパートやマンションもたくさん建ち、



やぐらを囲んで賑やかな盆踊り大会

大型店舗も出店し都会的に成りつつあります。そんな岡田自治会の夏のイベントが恒例の盆おどり大会です。この盆おどり大会は私の子供の頃からあり、最初は婦人会、その後自治会主催で行われるようになりました。七月末の開催に備え自治会員の協力のもと関係役員の手合会議や踊りの練習会、やぐら建て等の準備を七月初めより開始します。

やぐらは町内中ほどにある三島神社境内に建てます。当日はそのやぐらの周りを老若男女が和気あいあいと踊り、会員同士の親睦を深めます。

子供達は青少年健全育成会の出店するかき氷、ポップコーンなどの模擬店を楽しみにし、最後に行われる抽選会では婦人部の皆さんの準備する豪華な景品で抽選会がはじめられ

大いに盛り上がりを見せ大変楽しんでいようです。このような地域の皆さんが楽しんでいただけの行事はいつまでも続けたいものです。

### 賑やかだった夏祭り抽選会

緑ヶ丘地区

王子二丁目自治会

会長 佐々木安雄

王子二丁目自治会は、王子三丁目、王子二丁目目、王子一丁目目の福商業高校及び王子一丁目目の福傳寺、県立厚木東高校の北側で、西は本厚木カンツリークラブに隣接しているところ

です。市文化財保護課によると「王子地区の台地付近一帯の畑(現王子二丁目付近)からは、土器や石器が多数発見されており遺跡の存在は古くから知られていました。宅地開発に先立ち、発掘調査が昭和43年に予備調査、48年には本格調査が行われた。その結果として①縄文時代中期から後半の竪穴住居跡38軒、集積遺構13基②古墳時代後期の円墳3基③土器、石器が多数出土した」とのこと。そのうちのひとつ、有孔鏝付土器(厚木市指定有形文化財)が寿町三丁目の市立郷土資料館の2階常設展示場に展

示されています。

発掘調査の後、戸建て団地として開発されて昭和50年9月から入居が始まり、翌年5月に自治会が発足して今年で40年になります。現在約180戸です。御多分にもれず高齢化が進んでいます。今年も永年続けてきた夏祭りを7月23日に開催できました。祭りの締めくくりに抽選会時には、住民の6割程の参加で、「やったー」、「うーん一番いいだ」などと大騒ぎ。天候にも恵まれて楽しい夏祭り、地域の交流ができました。

秋には、団地の真ん中にある王子公園で起震車体験など防災フェアと豚汁を作ったりして、食べたり飲んだり3世代交流を行います。現在準備にとりかかっているところ



夏祭り「魚つかみどり」を楽しみに待つ子ども達